

コロナ禍で地域の福祉を支えつづけるみなさんにインタビュー

福祉施設の職員さんの、まっすぐな想い

～とくしまで働く将来×自分の未来を一緒に考えてみよう～

9月7日に徳島県立総合福祉センターで行われた福祉人材育成・定着のための座談会。高齢分野、保育分野、障害分野のそれぞれの福祉現場で働く職員さんによる自由な意見交換が行われました。いま福祉の仕事をがんばっている方へ、これから福祉の仕事を目指す方へ、現場のリアルな声の数々をレポートします！
ありがとう、福祉のある毎日。福祉職にエールを。



コーディネーター **太田 敬志さん(56歳)** 阿波国慈恵院 施設長
高齢分野ゲスト **城福 愛さん(25歳)** 特別養護老人ホーム 青香園 介護員
保育分野ゲスト **大栗 洋子さん(35歳)** みのり保育園 保育士
障害分野ゲスト **若井 俊樹さん(30歳)** 障害者支援施設 希望の郷 生活支援員



太田 今日はよろしくお願いします。まずは自己紹介をお願いします。
城福 特別養護老人ホーム青香園で介護職員をしています。働きだしてちょうど5年ぐらい。初めての職場が青香園なので、今の仕事しか知らないんですけど、今日はがんばりたいと思います。

大栗 みのり保育園で保育士をしていて担当は2歳児です。いま1歳4カ月の息子がいるんですけど、子育てと仕事と、それぞれ違うやりがいとか、おもしろみがあって、それぞれ違う目線で見させてもらっています。

若井 障害者支援施設希望の郷で支援員として働いています。利用者さんの食事や入浴などの基本的なところを大切にしながら、充実した生活を送れるように支援しています。新しい職員さんへの研修なども企画しています。

太田 福祉の仕事を選んだきっかけって、何かありますか？



若井 昔からおじいちゃんおばあちゃんっ子で、ずっと一緒に生活してきました。高校時代におじいちゃんが脳梗塞を患い、手が震えたり、文字が書けなくなったりして、自分が家族に対して何かできないかな?と思ったのがきっかけです。大学は福祉学科に進学し、現在の職場に就職しました。

城福 私の祖父は身体が弱くて、その介護を祖母が一生懸命しているのを見て、すごいと思ったんです。祖母はもともと看護師で、実は私も看護学校に通っていました。看護師

の道は諦めてしまったのですが、知識を活かして介護の仕事をしたなと思ひ、この仕事に就きました。

大栗 小学校6年生ぐらいのときに、近所の低学年の子と遊んだりするのが楽しくて、当時は幼稚園の先生になりたいと思ってたんです。その後、大学は児童学科に進みました。実習する中で、0歳から6歳までの子どもと関わる保育園が魅力的に感じて、今の仕事を選びました。

太田 福祉の仕事をしてきた中で、しんどかったこと、よかったこと、どんなことがありますか？

若井 やっぱり利用者の方が亡くなられたというのは、精神的にしんどかったです。初めて担当させていただいた利用者さんが病気で亡くなられたことが、いまも強く印象に残っています。不謹慎かもしれませんが、その保護者の方にお葬式で「最後に担当してくれた職員さんがあなたでよかった」と言っていたのは、救われた部分ですね。

城福 この仕事に就いて、一番最初に入所者さんの急変があったのが夜勤時の朝方でした。その方は、認知症はあるけど「ほんまにええ子やなあ。よう来てくれたなあ」って、いつも私に言ってくれるおばあちゃんです。あちこち連絡したり、バタバタする中で現場では悲しむ間もなく…。ひと段落して家族の方とお話して「あなたたちでよかった」って言っていただけて、涙が出てきましたね。



大栗 みなさんとは重さが違うんですけど…発表会などの準備期間は本

当に大変ですね。毎年新しいものを企画するとなったら、なかなか上手くいかないところがあります。うれしかったことは、0歳児を担当していた時に、一人の男の子が初めて歩くところを目にして、その成長の姿というのは今でも心に残っていますね。



太田 給与や研修などについては、それぞれいかがですか。

若井 月に5回ほど夜勤があるんですが、夜勤の後は丸一日休みがとれたり、手当がついたりします。給与面も安定しています。夜勤の時には、利用者さんとお話をする時間を多くとることができるので、この時間を大切にしています。

城福 私は未経験で介護の職場に入ったんです。働きながら介護福祉士の資格を取って、先輩に勉強をみてもらったり、教えてもらったり、すごくアットホームで理解のある職場で、ここまでやってこれたのは先輩や上司のおかげです。実務者研修にも出張扱いで行かせてもらえました。

大栗 うちの園はできるだけ定時であがれるように声を掛け合って帰るようにしていて、残業はあまりありません。話しやすい職場というのはメリット。あと、私はこれまで正規職員だったんですが、今年は子育てもあってパートに変えてもらいました。

太田 理解のある職場ですね。ほかの業種の仕事ではなかなかできないかもしれないけど、福祉の仕事ならではの良さですね。結婚して、子育てが忙しくなったら休んでみるとか、

別の部署に移してもらおうとか、一旦辞めたとしてもひと段落したら「いつでも帰ってこられる」というのが福祉の仕事の特徴ですね。

太田 みなさんがそれぞれの仕事に取り組む上で、大切にされていることを教えてください。

城福 職員間での縦と横の連携を大切にしています。何かあったら、誰かに言ってくれたらすぐに対応できると思います。それと利用者さんとのコミュニケーションですね。プライベートでも挨拶は大切にしています。

大栗 やっぱり「笑顔でいる」っていうのは、ずっと大事にしていることです。そのことで周りから話しかけやすいような雰囲気もですすね。

若井 個人的に大切にしているのはチームワークです。自分の業務的にも、新人職員さんがどうやって早く慣れてもらえるのかを考えていて。新人さんって日々の業務で困ることってけっこうあると思うんです。そこで、なるべく声をかけて自分が助けられるように心がけています。逆に、自分が困ったときには助けてもらいたいですし(笑)。お互いが助け合える関係になれるようにしたいですね。

太田 最後になりましたが、同じ福祉業界でがんばっている方へ一言

メッセージをお願いできますか？

若井 どこもコロナで大変な状態だと思います。人手不足だったり、利用者さんの支援、自分の体調管理もそうですし…。これを機にほかの施設さんとの情報交換ができる機会が増えればいいなと思っています。お互いに福祉業界を盛り上げていければいいですね。



城福 うちの施設ではコロナの影響で面会謝絶になっていて、利用者さんも「どうして会えないの?」「どうして娘は迎えにこないの?」って機嫌も悪くなって。どこの施設も同じようなところ多いと思います。この時期は本当に大変だと思いますが協力し合ってがんばっていきましょう。

大栗 コロナもそうなんですけど、日々の業務だけでもみなさん大変で。利用者さんや子どもさんのためにみなさん尽力されていると思います。健康で、笑顔で、がんばっていきましょう!と声をかけたいです。

これから福祉業界を目指すみなさんへ

よく周りから大変と言われるけど、自分自身は大変と思ったことがなくて。小さな幸せや笑顔を積み上げられる魅力ある仕事です!

利用者さんの笑顔がうれしくて、がんばろうと思える、やりがいのある仕事です。手当なども増えて給与面も改善されています!

元気をもらうことがたくさんある仕事です。子どもたちの成長を感じられるのは保育士ならではの、ぜひ一緒に働きましょう!